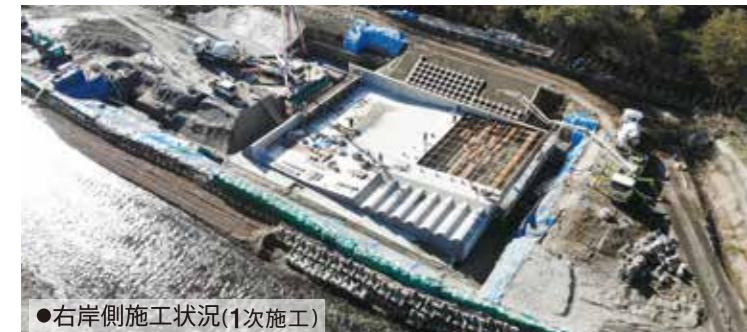






## 音更新得線 防B改良工事(誉橋床止工)(補正)



●工事名：音更新得線 防B改良工事(誉橋床止工)(補正)

●進捗率：完成済み(31年3月18日)

●施工業者：萩原建設工業株式会社

●施工場所：北海道河東郡音更町字上然別

●発注者：十勝総合振興局 帯広建設管理部

●施工期間：平成30年6月12日～平成31年3月20日

**土木**

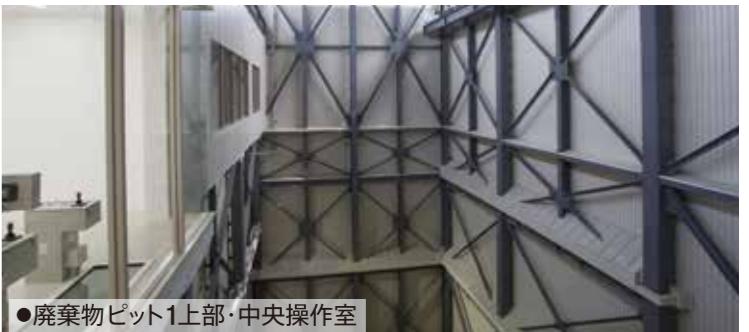
本工事は、道道音更新得線と道道川西芽室音更線の接続点付近にある、然別川に架かる誉橋に位置します。そこに床止工を設けて河床の低下を防止し誉橋の橋脚保護を行います。工事内容としては、工事延長L=53.2m、土砂・軟岩掘削V=15,500m<sup>3</sup>、盛土工V=800m<sup>3</sup>、本体工・取付擁壁コンクリートV=2,910m<sup>3</sup>、法覆護岸工A=674m<sup>2</sup>、護床工N=285個(根固めブロック2t・4t級)、仮設工N=1式となっております。

7月、8月は雨の影響で河川が増水し、作業がなかなか進まない時期もありましたが、工期短縮と作業効率向上の創意工夫を取り組み、工期内に工事を完成させることができました。

現場代理人：大籠 雅敏／現場担当者：三谷 大輝・柴田 京辰



## 公清企業第2エコパーク資源リサイクル施設建設工事



●工事名：公清企業第2エコパーク資源リサイクル施設建設工事 ●施工場所：札幌市東区中沼町45-57の内 ●進捗率：完成済み

●発注者：株式会社 公清企業

●設計・監理：株式会社 石本建築事務所

●施工業者：萩原建設工業株式会社

●施工期間：平成30年5月1日～平成31年4月25日

●規模：鉄骨造2階建て 敷地面積7,957.68m<sup>2</sup>／延べ床面積4,016.94m<sup>2</sup>

昨年より札幌リサイクル団地内にて、廃石膏ボード棟に続き資源リサイクル棟の建設工事を行いました。

この施設は廃棄物を破碎、焼却しリサイクルする施設です。

焼却時に発生する熱を利用したバイナリー発電も導入しています。

施工は冬季に入り込み、中沼という地域特有の雪、風等の厳しい気象状況の中困難を極めましたが、協力業者の皆様のおかげで今年の4月に引渡す事が出来ました。只今外構工事も終了し6月24日からの開業が決定いたしました。



**建築**

現場代理人：嶋宮 剛／現場担当者：神田 一樹・堀田 康介

# 当社の新しい仲間を紹介いたします!

今号は、今年4月に入社した8名の社員をご紹介します！建設業を志したきっかけと抱負をご覧ください！



**島田 竜伸 (しまだりゅうしん)**

所属部署:土木部  
高校時代に現場見学やインターンシップで土木の仕事を見て興味を持ちました。更に知識を得る為に土木系の大学に進学し、建設業界を目指しました。

現場に出てからはあっという間に1ヶ月が経ってしまい、このままではすぐに2年目を迎てしまいそうなので、日々色々な仕事を習得し自ら動けるような人になりたいです。



**長田 奏祐 (ながた そうすけ)**

所属部署:土木部

3年前に経験した台風をきっかけに災害復旧に対して第一線で活躍している姿や、日々地域の人たちのために構造物を建築している建設業に興味を持ち、建設業界を就職先として選びました。

土木職として多くの人が安心安全に生活していくために、より頑丈な構造物を建設できるよう全力で取り組みます。



**LE HAI CUONG (レハイ クォン)**

所属部署:建築部  
日本には地震や火災などに強い丈夫で安全な建築物が多く、特に耐震技術は世界トップクラスです。

人々の生活を守り、豊かな暮らしを支えている建設業に、すごく興味関心を持ったことがきっかけです。  
人々がこれからもっと快適な生活を送れるよう、自然環境にも優しい建物を作っていくことが目標です。



**能登谷 宗太 (のとや そうた)**

所属部署:建築部

人のために現場監督として働く父の姿に憧れ、

大学で建築を学んだことがきっかけです。

自分に出来る事は全力でやり、少しでも早く現場で戦力になれるように頑張っていきたいと思います。



**NGUYEN TAN HIEU (グエン タン ヒュー)**

所属部署:建築部

私は子供の頃から建物が好きでした。  
世界の建築に比べて、日本の建築技術は高く、有名な国です。それが日本で建築について学んだきっかけです。これから宜しくお願ひいたします。



**早川 晃大 (はやかわ こうだい)**

所属部署:建築部

幼少期からモノづくりが好きで、将来は大工になりたいと思っていました。高校生の時に聞いた卒業生からの話がきっかけで、自分の好きなモノづくりを仕事にして、自分が携わった建物が未来永劫カタチに残り、人々の役に立つことができる建設業を選びました。上司や先輩達が日々こなしている業務を見聞きし、いち早く自分のものにして現場で活躍できる技術者になりたいです。



**伊藤 茜 (いとう あかね)**

所属部署:建築部

人々の生活を支える建設業を、事務職として微力ながら支えていきたい！ そう思ったのがきっかけです。  
そのためにはまず明るく頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願ひします！



**佐藤 菜保 (さとう なお)**

所属部署:総務部

以前から、地域のまちづくりに貢献したいと考えており、モノづくりで人々の生活を支える建設業という仕事に興味を持ちました。

総務の仕事を通し、地元の発展の力になることができればと考えています。

## 今月の表紙

撮影:萩原建設工業 営業部・仁藤 正憲

今月の表紙は毎年7月下旬から8月上旬に行われます小麦の収穫です。十勝の小麦は北海道の小麦生産量の4割以上を占め、その作付面積はなんと日本国内全体の4分の1を占めます。雪不足による凍結で心配された小麦も親戚の小麦農家に聞くと例年並みの生育模様ということです。日本一の小麦生産地の十勝には美味しいパン屋さんがたくさんあります。帯広・音更・芽室・上士幌・鹿追・足寄…。  
思いを巡らすとついよだれが(笑) 十勝においての際はパンの食べ歩きも楽しいと思います。



**SUZUKI**

その先にある、まだ見ぬ世界へ。

**Jimny**  
ジムニー

2019ワールド・アーバン・カー受賞

**帯広スズキ株式会社**

帯広市西21条南1丁目1番地  
TEL:(0155) 61-0066



2019年7月号 / HAGIWARA TIMES vol.26 本誌記載の記事に関するお問い合わせならびに引用に関しては当社営業部までご連絡ください。またバックナンバーは当社HPよりご覧ください。

萩原建設工業株式会社

〒080-0807  
北海道帯広市東7条南8丁目2

TEL.0155-24-3030

<http://www.hagiwara-inc.co.jp/>